

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年3月3日(2025.3.3)

【国際公開番号】WO2022/220212

【出願番号】特願2023-514638(P2023-514638)

【国際特許分類】

C07C323/22(2006.01)

C09K19/60(2006.01)

G02F1/13(2006.01)

10

【F I】

C07C323/22 C S P

C09K19/60 H

G02F1/13 500

G02F1/13 505

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月20日(2025.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

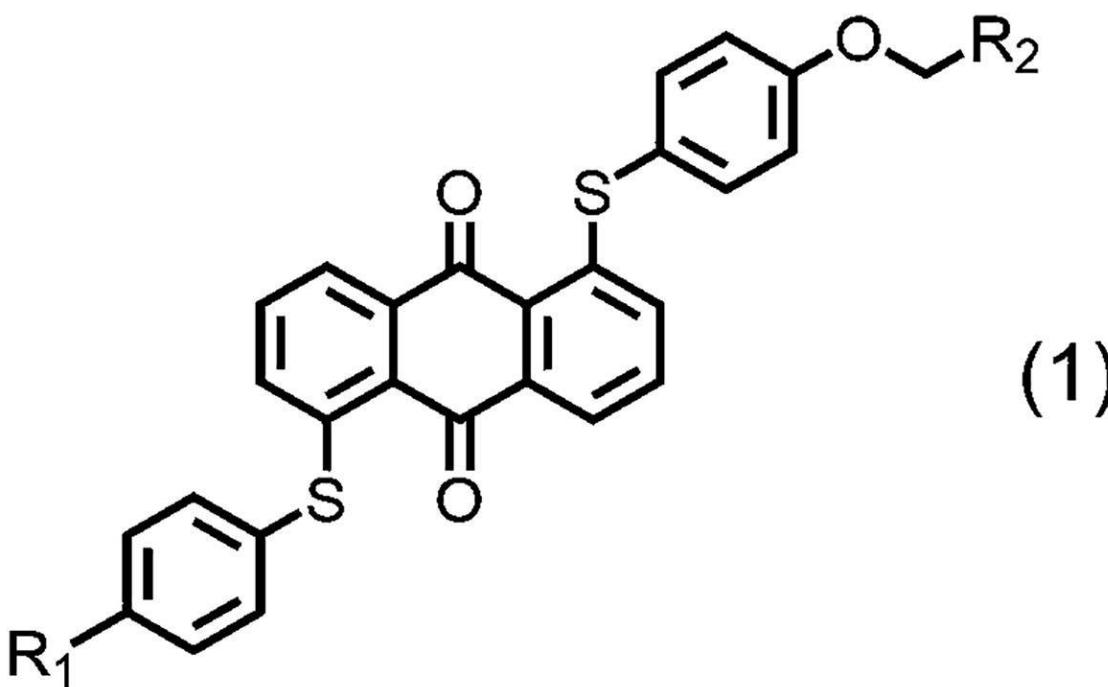
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(1)

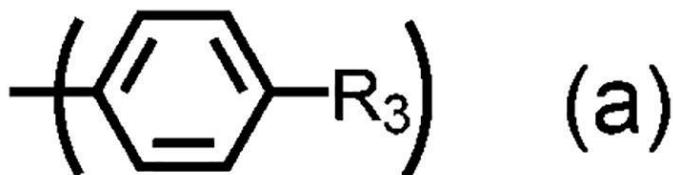
【化1】



(式中、R<sub>1</sub>は水素原子、炭素数1乃至12の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基、又は炭素数1乃至12の直鎖若しくは分岐鎖のアルコキシ基を表す。R<sub>2</sub>は下記式(a))

50

## 【化2】

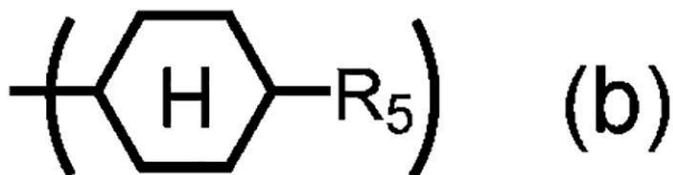


(式(a)中、R<sub>3</sub>は水素原子、炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基、炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルコキシ基、又は-C H<sub>2</sub> R<sub>4</sub>で表される置換基を表し、R<sub>4</sub>は炭素数1乃至8の直鎖又は分岐鎖のアルキル基を表す。)

10

又は下記式(b)

## 【化3】



(式(b)中、R<sub>5</sub>は水素原子、炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基、又は-C H<sub>2</sub> R<sub>6</sub>で表される置換基を表し、R<sub>6</sub>は炭素数1乃至8の直鎖又は分岐鎖のアルキル基を表す。)

20

で表される置換基を表す。)

で表されるアントラキノン化合物。

## 【請求項2】

式(1)におけるR<sub>2</sub>が、式(a)で表される置換基であり、式(a)におけるR<sub>3</sub>が水素原子、炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基、又は炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルコキシ基である、請求項1に記載のアントラキノン化合物。

## 【請求項3】

式(a)におけるR<sub>3</sub>が、水素原子、又は炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基である、請求項2に記載のアントラキノン化合物。

30

## 【請求項4】

式(1)におけるR<sub>2</sub>が式(b)で表される置換基であり、式(b)におけるR<sub>5</sub>が水素原子、又は炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基である、請求項1に記載のアントラキノン化合物。

## 【請求項5】

式(1)におけるR<sub>1</sub>が炭素数1乃至8の直鎖又は分岐鎖アルコキシ基である、請求項1乃至4のいずれか一項に記載のアントラキノン化合物。

## 【請求項6】

式(1)におけるR<sub>1</sub>が炭素数4乃至8の直鎖のアルコキシ基である、請求項5に記載のアントラキノン化合物。

40

## 【請求項7】

式(1)におけるR<sub>1</sub>が、水素原子、又は炭素数1乃至8の直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基である、請求項1乃至4のいずれか一項に記載のアントラキノン化合物。

## 【請求項8】

式(1)におけるR<sub>1</sub>が炭素数4乃至8の直鎖のアルキル基である、請求項7に記載のアントラキノン化合物。

## 【請求項9】

請求項1乃至4のいずれかに記載のアントラキノン化合物、及び液晶材料を含有する液晶組成物。

## 【請求項10】

50

光硬化性化合物及び光重合開始剤を更に含有する、請求項9に記載の液晶組成物。

【請求項11】

請求項1乃至4のいずれかに記載のアントラキノン化合物、液晶材料、及び請求項1に記載のアントラキノン化合物以外の色素化合物の少なくとも1つ以上を含有する液晶組成物。

【請求項12】

請求項1乃至4のいずれかに記載のアントラキノン化合物、液晶材料、請求項1に記載のアントラキノン化合物以外の色素化合物の少なくとも1つ以上、ならびに光硬化性化合物及び光重合開始剤を含有する液晶組成物。

【請求項13】

請求項10に記載の液晶組成物の光硬化物。

【請求項14】

請求項12に記載の液晶組成物の光硬化物。

【請求項15】

少なくとも一方が透明電極を有する透明基板である対向配置された一対の基板間に、請求項9に記載の液晶組成物を挟持してなる調光素子。

【請求項16】

少なくとも一方が透明電極を有する透明基板である対向配置された一対の基板間に、請求項13に記載の光硬化物を挟持してなる調光素子。

【請求項17】

一対の基板の両方が透明電極を有する透明基板である、請求項15に記載の調光素子。

【請求項18】

一対の基板の両方が透明電極を有する透明基板である、請求項16に記載の調光素子。

10

20

30

40

50